1

自治区2021 分断の時代に vol.2

高山明 / Port B「ワーグナープロジェクト@金沢21世紀美術館」

2022年1月8日（土）～
2月6日（日）

高山明 / Port Bがヒップホップの学校を金沢21世紀美術館に開校！
ヒップホップを互いの存在を認め合うコミュニケーション･ツールと捉え、
学びの空間を作ることでその有効性を探ります

展覧会名	高山明 / Port B「ワーグナープロジェクト@金沢21世紀美術館」
会期	2022年1月8日（土）～2月6日（日）
時間	昼の部 10:00～18:00 / 夜の部 18:00～21:50
休場日	月曜日、1月11日（火） ※ただし、1月10日（月・祝）は開場
会場	金沢21世紀美術館 展示室13
料金	無料
主催	金沢21世紀美術館［公益財団法人金沢芸術創造財団］
お問合せ	金沢21世紀美術館 学芸・交流課　TEL076-220-2801/ 076-220-2811

本資料に関する
お問合せ

金沢21世紀美術館　事業担当：黒澤浩美・中田耕市・野中祐美子
広報担当：石川聡子・齊藤千絵 ・落合博晃
〒920-8509　金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814　FAX 076-220-2802
https://www.kanazawa21.jp　E-mail: press@kanazawa21.jp

展覧会概要

金沢21世紀美術館の長期プログラム「自治区」に、現実の都市空間でツアー・パフォーマンスなどのプロジェクトを展開している高山明/Port Bが登場します。2017年より開催している『ワーグナー・プロジェクト』の一つとして、「ヒップホップの学校＠金沢」を開校します。『ワーグナー・プロジェクト』は、ワーグナーのオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』で演じられる"歌合戦"をヒップホップに接続するプロジェクトです。ヒップホップは黒人文化の象徴として70年代に始まりました。路上で生まれた詩をビートに乗せたラップ音楽、ブレイク・ダンス、スプレーで街に描き込まれたグラフィティ・アート。その後は民族、地域、年齢や時代を超えてファッションや生き方にも影響を与え、今や全世界を席巻するカルチャーに発展しています。ヒップホップは自由な表現を通じて、互いの存在を認め合うコミュニケーション・ツールとしても有効なのではないか。学びの空間を作ることでそれを示したいというのが、「ヒップホップの学校＠金沢」です。

自治区 シリーズ「分断の時代に」について

金沢21世紀美術館の長期プログラム「自治区」は、美術に限らず科学、歴史、社会学など、学際的に他の領域を横断しつつ、年間を通してライブ、映像上映、トークシリーズ、滞在制作、身体表現など多様なプログラムを継続的に実施してきました。外部コミュニティとの連携・協働を通じて、これまでの美術の領域を超える実験的な活動を行っています。
〈自治区2021 分断の時代に〉は、小泉明郎と高山明による2回シリーズです。行き過ぎた市場経済を背景に効率と競争の社会が加速化し、人々の間に格差・対立と分断を生んでいる現代社会。コロナ禍によって顕在化した制度の歪みや行き場のない感情のたまった現実について、私たちはどのような態度で向き合えば良いのでしょうか。2人のアーティストの作品と活動を通して、自分ごととして考える機会になる場を開きます。自治区 シリーズ分断の時代に1では、「小泉明郎 縛られたプロメテウス」を2021年12月11日、12日、17日、18日、19日に開催しました。

TEACHERS

荏開津広（DJ／ライター）
snipe1（グラフィティライター）
ダースレイダー（ヒップホップミュージシャン）
DJ JIN（RHYMESTER／DJ／プロデューサー）
HUNGER（GAGLE／ラッパー）
Mr麿（スタジオ石/stillichimiya/映像クリエイター）
0081（YOCO ORGAN／ラッパー）
CARREC（DJ・ビートメイカー）
YUuKA（ダンサー）
yakut.adan.oshi（PROPO／グラフィック）
阿部航太（デザイナー ／映画監督）
他

プログラム

「ヒップホップの学校」昼の部

昼の部は、これまで横浜、フランクフルト、大分で開催してきた学校の様子（レクチャー、ワークショップ、オーディション、ライブ、サイファー）などを含めた約150時間に及ぶアーカイブ映像を展示します。映像が教材となり、初めての方でもヒップホップが何かを学ぶには最適な自習空間です。『ワーグナー・プロジェクト』のためにボムされたsnipe1によるグラフィティも必見！

2

『ワーグナー・プロジェクト＠金沢21世紀美術館』
イメージ図

「ヒップホップの学校」夜の部

夜の部は、展示室を自由に使える&滞在できるオープン・スクールとして開放します。ラップ・DJ・MVなどのクラスやワークショップは誰でも予約なしで参加・見学ができます。様々なゲストを交えてのレクチャーやトークはオンライン配信での聴講も可能です。週1で開催されるダンスセッションや、バトルイベントなど日々生成変化する場としての『ワーグナー・プロジェクト』をお楽しみください！

3

『ワーグナー・プロジェクト』横浜、2017

【DANCE SESSION】
毎週木曜日（1月13日・20日・27日・2月3日）18:00〜20:00

【DANCE BATTLE】
1月22（土）18:00〜20:00

【RAP BATTLE】
1月29日（土）18:00〜20:00 GUEST MC：サイプレス上野

プロフィール

高山 明（総合ディレクション）

4

1969年生まれ。2002年、演劇ユニットPort B（ポルト・ビー）を結成。実際の都市を使ったインスタレーション、ツアー・パフォーマンス、社会実験プロジェクトなど、現実の都市や社会に介入する活動を世界各地で展開している。近年では、美術、観光、文学、建築、都市リサーチといった異分野とのコラボレーションに活動の領域を広げ、演劇的発想・思考によって様々なジャンルでの可能性の開拓に取り組んでいる。東京藝術大学大学院映像研究科教授。Port B主宰。
http://www.portb.net/

小林恵吾（空間デザイン）

5

1978年、東京生まれ。2002年早稲田大学理工学部建築学科卒業。2005年ハーバード大学大学院デザイン学部修士課程修了後、2012年までOMA／AMOロッテルダム事務所に勤務。代表レム・コールハースと共に主に北アフリカや中東地域のプロジェクトを多数担当。その後、早稲田大学理工学研究科建築学専攻助教を経て2016年より同大学准教授。設計事務所NoRA共同主宰。主な作品に「2014年ヴェネチア建築ビエンナーレ日本館展示計画」、「ワセダライブハウス」、「Gordon Matta-Clark展会場計画」など。

荏開津広（ライター／DJ／東京藝術大学非常勤講師）

6

執筆／DJ／京都精華大学、立教大学非常勤講師。ポンピドゥー・センター発の映像祭オールピスト京都プログラム・ディレクター。90年代初頭より東京の黎明期のクラブ、P.PICASSO、ZOO、MIX、YELLOW、INKSTICKなどでレジデントDJを、以後主にストリートカルチャーの領域において国内外で活動。著書に『人々の音楽について』（EDITION OKFRED、2010年）、共訳書に『サウンド・アート』（フィルムアート社、2010年）。主なキュレーションに『サイドコア　身体／媒体／グラフィティ』（2013年）、プログラム・ディレクションに『ポンピドゥー・センター公式映像祭　オールピスト東京』（2014年）など。
https://kompass.cinra.net/article/201912-egaitsuwatanabe_kngsh

snipe1（グラフィティ・ライター）

7

日本人グラフィティライターの先駆者として知られるsnipe1は、1990年代初頭のNYグラフィティ界に10代で身を投じ、その後世界中のグラフィティコミュニティを巡りコネクションを築いた後に帰国。活動の拠点を日本に移し、今日までの日本におけるグラフィティカルチャーの興隆に多方面で尽力してきた。2018年、自身初となるソロエキシビションを、村上隆が運営するHidari Zingaroにて開催し、好評を得る。ストリートカルチャーの感性に基づきながらも、グランジとも言うべき「汚さ」のエッジを取り入れた、ダーティかつ誰にも似ない独自なスタイルを貫くsnipe1のグラフィティは、常に固定観念を破壊する危うさをはらんでおり、LA、NY、バンコク、香港、メルボルンなど、世界中の前衛ギャラリーにて今もなお、アート界をボミング中である。

ダースレイダー（ヒップホップ・ミュージシャン）

8

1977年、フランス・パリ生まれ。ロンドン育ち、東京大学中退。ミュージシャン、ラッパー。吉田正樹事務所所属。2010年に脳梗塞で倒れ、合併症で左目を失明。以後は眼帯がトレードマークに。3ピースバンド、ベーソンズのボーカル。オリジナル眼帯ブランドO.G.Kを手がけ、自身のYouTubeチャンネルから宮台真司、神保哲生、プチ鹿島、小西克哉らを迎えたトーク番組を配信している。著書「NO拘束～ダースレイダー自伝」「MCバトル史から読み解く日本語ラップ入門」など。

Mr麿（みすたーまろ）

9

1982年、山梨県生まれ。2004年からラップグループ「stillichimiya」のメンバーとして音楽活動を行う。TVドラマのADを経て、2010年より同じく「stillichimiya」のメンバーであるMMMと「スタジオ石」を結成。ミュージックビデオの制作を始める。以後、stillichimiyaをはじめ、NORIKIYO、FNCYなどヒップホップを中心としたアーティストのMVを制作。

2015年より「映像制作集団　空族」の作品に参加する。

2016年 映画「バンコクナイツ」撮影・編集

2019年 映画「典座 -TENZO-」撮影・編集

大谷内真郷（YOCO ORGAN / EVENKICK）

金沢を中心に活動するラップデュオ「YOCO ORGAN」ラッパー、プロデューサー。自身のミュージックビデオの企画、撮影編集や企業自治体等の映像コンテンツ制作も手がける。また金沢科学技術大学校 映像音響学科では後進の育成にも携わっている。

サイプレス上野

サイプレス上野とロベルト吉野のマイクロフォン担当。通称『サ上』。
2000年にあらゆる意味で横浜のハズレ地区である『横浜ドリームランド』出身の先輩と後輩でサイプレス上野とロベルト吉野を結成。2007年に1stアルバム「ドリーム」を発表以降、通算7枚となるアルバムをリリース。"HIP HOPミーツallグッド何か"を座右の銘に掲げ、ロックフェスへの出演やアイドルとの対バンなど、ジャンルレスな活動を繰り広げ、ヒップホップリスナー以外からも人気を集めている。
2020年には、サイプレス上野とロベルト吉野の結成20周年を迎え、親交のあるアーティストとのコラボアルバム「サ上と口吉と」をリリース。
また、3DCG YOUTUBE LIVE「WONDER WHEEL」、Abema TV「Music水曜The NIGHT」、FMヨコハマ「BAYDREAM」のメインMC、テレビ東京「流派-R」レギュラーコーナー、TVCMナレーションなど、越中詩郎級の『やってやるって！』の精神で多方面に進撃中。
http://sauetoroyoshi.com

DJ JIN（RHYMESTER）

日本を代表するヒップホップ・グループ、RHYMESTERのDJであり、クラブ・プレイや楽曲提供でも活躍。自身が担当する音楽FM番組「Joint & Jam」はJFN系列全国25局ネットで放送開始から12年目に突入。
https://twitter.com/_dj_jin_
https://www.instagram.com/__dj_jin__/
https://www.mixcloud.com/djjin/stream/

10

HUNGER（GAGLE / Jazzy Sport / 松竹梅レコーズ）

仙台拠点のヒップホップユニット「GAGLE」のMC。雪国育ち。ラップの可能性をハングリーに追求する北の異端児。ライブを軸にした粘り強い活動で着実に信頼を獲得。日本のヒップホップクラシックとの呼び声が高い「雪ノ革命」「屍を越えて」etc… 名曲を生み出した。近年はラジオ番組のMC、審査員などマルチな活動でヒップホップカルチャーの普及に貢献。2003年より「松竹梅レコーズ」を主宰。地元仙台のアーティストの音源制作や海外のアーティストとの連携プロジェクトを展開。2021年現在、110作品以上リリースしている。コロナ禍においては「朝からハンガー」など新しいライブ配信を企画、既に200回以上実施している。

11

CARREC

石川県金沢市出身のDJ・音楽プロデューサー・ビートメイカー。韻踏合組合-前人未踏（CARREC REMIX）をはじめとした斬新すぎるサンプリングセンスでこれまでにHIDADDY、MEGA-G、DARTHREIDER、EL DA SENSEI（Artifacts）、N.E.N、崇勲、Zoomgalsなど様々なHIP HOPアーティストのビートを調理する通称「和の鉄人」
https://carrecbeats.com/

12

広報用画像

画像1〜12を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。
https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

［使用条件］
※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。
※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。
※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。